

耐震改修工事をかねた段差の解消
転倒による歩行（困難）障害

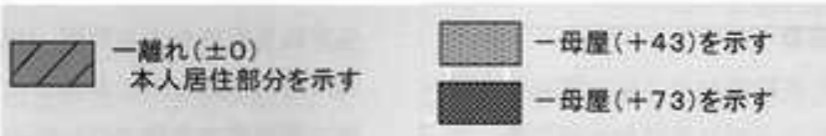
●家族構成及び介助の状況
本人は離れ①にて暮らし、母屋に息子夫婦と、その子（孫）の家族3人が暮らしている。
日中は母屋の居間③にて過ごすことが多い。

●身体状況
経緯 平成13年 右乳房腫瘍摘出手術
平成15年 転倒右脚骨折
障害 右膝 屈曲制限
両下肢 筋力低下
歩行 すり足
座位 正座不可能

●日常生活
起居 自立
食事 自立
排出 自立
入浴 自立
移動 一部介助
洗面 自立

●介護状況
介護保険利用
主な介護者 息子の配偶者 訪問介護サービス
介助杖

●住まいの状況
息子の持ち家
母屋 築31年 新築1975年 木造2階建
離れ 築6年 増築2000年
居住 本人 離れに居住 家族 母屋に居住
住宅改修の経験 介護保険を利用 離れ 浴室浴槽 手すり取り付け



耐震改修工事(床間耐力壁増設) 介護改修工事(床レベルの引き下げ)



改修前の居間

改修中の居間

住宅リフォ

ーム改修事例



改修前 離れ出入口



改修後 離れ出入口

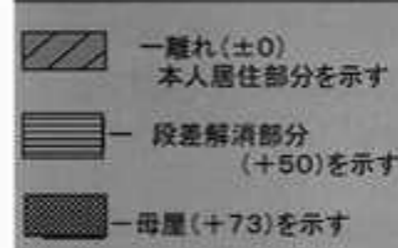


浴室入口



改修後 離れ出入口より居間を見る

改修後



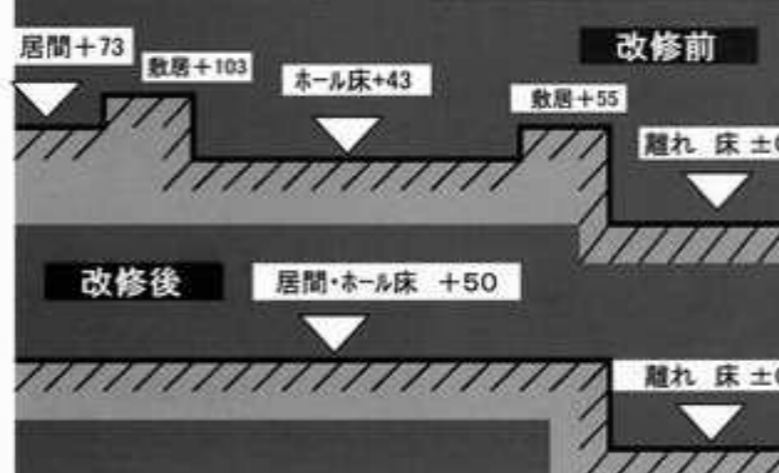
●改修のポイント
・息子は母屋の、耐震改修工事を予定していた。
・設計段階で考慮し、耐震改修工事を行う母屋の居間床レベルを全体的に下げ、敷居を無くし、段差解消することとした。
・解消しきれない段差（離れの母屋への出入口）に、縦手すり、入口付近に横手すりを設置し、自立歩行を可能とした。



改修後 離れ出入口



パリアフリーになった母屋の床



改修後の居間